

茨城県における妊婦検査と肝炎初回精密検査

| | |
|--------------|---------------------|
| 研究分担者：池上 正 | 東京医科大学茨城医療センター消化器内科 |
| 研究協力者：濱田 洋実 | 筑波大学医学医療系総合周産期医学 |
| 研究協力者：今川 和生 | 筑波大学附属病院小児科 |
| 研究協力者：三輪 尚子 | つくば市健康増進課成人保健係 |
| 研究協力者：阿曾 有利子 | 全国B型肝炎訴訟東京原告団 |
| 研究協力者：鈴木 奨以 | 茨城県保健医療部健康推進課 |

研究要旨： 茨城県でも令和4年から妊婦検診による肝炎ウイルス検査陽性者が初回精密費用助成の対象となった。茨城県と共同で、陽性妊婦と直に接する各自治体・保健所の職員に対して研修を行い、その際に得られた意見をもとに県と共同で資料を作成した。さらに、県内で出生数の最も多いつくば市をモデルケースとし、水平展開を目指すための基盤構築を開始した。

A. 研究目的

茨城県においては、自治体検査、職域、手術前検査に加え、令和4年度からは妊婦健診のウイルス肝炎陽性者を初回精密検査費用の助成対象とした。主体となってきた高年齢層患者の掘り起こしは主として他疾患の診療目的で訪れた医療機関で行われることが多く、これが非専門医対策の強化の根拠となっている。一方、一定数の若年患者が存在し、これらは医療機関を受診する機会が少ないため、妊婦健診はエントリールートとして重要である。すでに他の自治体で取り組みが開始されている一方で、必ずしも初回精密検査数の増加に結びついていないとは言い難い。令和5年3月には厚生労働省から日本小児保健協会に対して「妊産婦に対する肝炎ウイルス検査に関する情報提供の充実について」とした事務連絡が発出されており、県行政・自治体・産科医・小児科医・患者が一体となって取り組む課題と考えられるようになってきた。これを行う好事例を作り、水平展開をすべきと考えた。

B. 研究方法

初年度は、実際に肝炎ウイルス陽性妊婦

に直に接する機会が多い行政の保健師を対象にセミナーを開催し、実際に肝炎ウイルスについての説明を行うために必要な資料作成のための情報を獲得した。さらに実際に妊婦として同様の経験をした患者、陽性妊婦に接する産婦人科医、小児科医との意見交換を行い、これらをもとに啓発資料の開発を県と合同で行なった。

C. 研究結果

茨城県内での妊婦検診の陽性者としては、外国人の割合が増加しており、案内を行うための外国語資料が必要という意見が多かったため、日本語版と英語版をまず作成した（啓発資料）。要望の多い中国語版・ポルトガル語版を作成中である。また、県内で最も出生数が多いつくば市において、初回精密検査勸奨のシステム構築の担当者と折衝し、関連資料の使用を依頼・使用開始した。

D. 考察

妊婦検診に関しては、患者も含め多くのステークホルダーが関連する分野であり、連絡協議体を構築して展開することが重要である。

E. 政策提言および実務活動

<研究活動に関連した実務活動>

研究班活動に加えて、茨城県の肝炎対策協議会の副会長として、県の肝炎施策に協力・助言を行い、さらに茨城県の肝疾患診療連携拠点病院である東京医科大学茨城医療センターの実施責任者として、茨城県と連携し、県内の肝疾患専門医療機関との協議会などを通じて県内の総合的な肝炎対策施策の推進活動に携わっている。また、茨城県産業保健総合支援センターの産業保健相談員として、特に職域における肝疾患に対する対策について提言を行なっている。

F. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

なし

3. その他

啓発資材

肝炎ウイルスのお話～ママと赤ちゃんのために（日本語版・英語版）

啓発活動

1. 令和5年度肝がん撲滅運動 茨城県責任者 市民公開講座「元気な肝臓のために知っておくこと」 講演1 「アルコールとどう付き合うべきか？」 池上 正 令和5年7月29日 東京医科大学茨城医療センターにて開催
2. 第35回肝臓病教室 テーマ：糖尿病と肝疾患 「奈良宣言2023について」 池上 正 令和5年8月19日 東京医科大学茨城医療センターにて開催
3. 第36回肝臓病教室 テーマ：肝炎すごくで知る肝炎医療 令和6年3月16日 東京医科大学茨城医療センターにて開催予定 開会挨拶・ファシリテーター
4. 令和5年度肝炎コーディネーター研修会

日本肝臓学会主催 特別講演「肝がんゼロを目指すコーディネーター活動」

池上 正 令和5年9月16日 日立製作所 日立総合病院にて hybrid方式で

5. 令和5年度茨城県肝炎医療コーディネーターステップアップ研修会 テーマ：見つけよう！自分のコーディネーター活動ファシリテーター 令和6年1月20日 東京医科大学茨城医療センターにて開催

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし